

熊本再春医療センター(一般公開用)

【基本理念】

思いやりの心で 患者、地域、職員に愛される病院

【病院紹介】

当院は熊本市の北方 12km、火の山阿蘇の西麓、合志市黒石原の中央（海拔 82.5m）に位置し、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター、国立療養所菊池恵園、独立行政法人国立熊本高等専門学校機構に隣接しています。平成 31 年 4 月 1 日、「独立行政法人国立病院機構熊本再春荘病院」から「独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター」と病院名称を変更しました。令和元年 9 月より新たな 8 階建ての一般病棟・外来棟の運用を開始し、令和 2 年 3 月に旧病棟の管理棟への改修工事が終了し駐車場整備を経て、同年 11 月にグランドオープンしました。周辺は熊本市のベッタタウンとして人口が急増し、交通至便です。敷地内は、桜・常緑樹木等に囲まれ、静閑清涼で医療機関の環境として最適なところ です。

国立病院機構ネットワークの一員として 4 つの政策医療（神経筋疾患、重症心身障害、成育医療、骨・運動器疾患）の「専門医療施設」として指定されています。政策医療の実施は、診療・臨床研究・教育研修・情報発信の機能が一体となった医療体制を整え、その役割を果たしています。

呼吸器疾患の専門医療機関として、診療、教育研修において指導的な役割を果たしており平成 26 年 4 月呼吸器センターを開設しました。平成 28 年 11 月には地域包括ケア病棟開設、平成 31 年には熊本県地域医療連携ネットワーク拠点病院に指定され、熊本県北部の菊池圏域における中核医療機関として、地域の拠点病院としての使命を果たしつつ、地域住民の生命と健康を守り、安心して信頼される医療の提供に努めています。これに応えるため各診療科の充実と診療レベルの向上を図るとともに、第二次救急医療を含む時間内外救急の受け入れ体制を整備して、地域医療連携を積極的に進めています。

【施設概要】 2023.7.1（データは 2022 年度実績）

1. 所在地 〒861-1196 熊本県合志市須屋 2659
2. 特徴 熊本県指定がん診療連携拠点病院
熊本県地域医療連携ネットワーク拠点病院
熊本県難病診療分野別拠点病院
地域医療支援病院
救急告示病院
日本医療機能評価機構病院機能評価認定 3rd G : Ver2.0
3. 診療科 18 診療科
[外科系] 外科・整形外科・呼吸器外科・消化器外科
[内科系] 呼吸器内科・腫瘍内科・感染症内科・脳神経内科・消化器内科
循環器内科・代謝内科・リウマチ科・小児科・内科
[外科系・内科系以外]
麻酔科・リハビリテーション科・放射線科・病理診断科

病床数

[一般] 266 床 (3 病棟、5 病棟、6 病棟、7 病棟、8 病棟)

[政策] 180 床 (筋ジストロフィー80 床、重症心身障害 100 床)

4. 薬剤師数 (定数 11 名)

薬剤部長 1 名、副薬剤部長 1 名、調剤主任 1 名、薬務主任 1 名、製剤主任 1 名
治験主任 1 名、薬剤師 4 名、助手 2 名

5. 主な業務

(ア)調剤	入院 48,599 枚/年、外来 32,140 枚/年 (院外処方率 93.6%)
(イ)注射	入院 34,718 枚/年、外来 6,526 枚/年
(ウ)薬剤管理指導件数	2,291 件/年 (191 件/月)
(エ)無菌製剤処理料	1:608 件/年 (うち閉鎖式使用 537 件/年)
(オ)外来化学療法加算	1:604 件/年
(カ)外来腫瘍化学療法診療料	1:392 件/年
(キ)連携充実加算	248 件/年
(ク)病棟薬剤業務実施加算 1	7,238 件/年 (603 件/月)
(ケ)病棟薬剤業務	実施 (実施病棟数 3)
(コ)チーム活動	ICT (感染対策防止加算 1、抗菌薬適正加算) NST (栄養サポート加算)、 認知症ケアサポートチーム (せん妄ハイリスク患者ケア加算) 緩和ケアチーム 糖尿病教室

6. 特徴的な業務

① 入院時支援

入退院支援室と連携し、処置・手術前休薬が必要となる薬剤の確認、服薬状況の確認を実施している。

② 資格取得支援

カンファレンスへの参加や各種専門チームでの活動を通して、各専門分野における認定資格取得に必要な経験を積むことができるようサポート体制を設けている。

③ 薬学部実務実習

薬学 6 年制実務実習の学生を 1 期あたり 1~2 名受け入れ、薬学卒前教育を行っている。

7. 2023 年度の取り組み

① COVID-19 感染拡大防止のため、ワクチン保管管理及び調製業務を実施する。

COVID-19 治療薬の発注及び管理業務を実施する。

② 薬学 6 年制実務実習(オンライン実習等を含む)による受け入れ体制を構築する。

③ 外来化学療法加算 1 連携充実加算の充実のため、病院ホームページの更新、地域薬剤師会に向けた研修会を実施する。

④ 薬・薬連携の更なる充実のため、院外処方箋一部不要のプロトコルの病院 HP を更新する。

8. システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	○
自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	○
水剤監査システム	×
散剤分包機	○
安全キャビネット	○
クリーンベンチ	○

9. 目標

令和5年度 病院目標

医療安全の推進

令和5年度 薬剤部目標

1. 医療安全の推進
 - ①調剤過誤防止の徹底
 - ②麻薬・向精神薬及びハイリスク薬のリスク管理
 - ③日本病院薬剤師会へのプレアボイド報告
 - ④副作用（医療安全性情報）報告の周知徹底
2. 患者サービスの推進
 - ①服薬指導の充実
 - ②多職種連携への積極的参画及び活動（がん診療、緩和、ICT、NST、褥瘡対策チーム等）
 - ③地域連携の推進（菊池郡市薬剤師会研修会、情報提供等）
3. 医薬品の適正管理
 - ①バランスのとれた購入・消費
 - ②中期計画を見据えた後発医薬品の推進
 - ③廃棄薬剤の縮減
4. 感染症対策協力体制の推進
 - ①新型コロナウイルスワクチンの管理・調製
 - ②新型コロナウイルス治療薬関連業務
5. 認定・専門薬剤師養成へ向けての教育
 - ①学会及び院内外研修会の積極的参加及び発表
 - ②Web等を利用した研修（自己研鑽）
6. 学生実習への対応